

クريمイティブ実証サポート事業募集要項

【募集期間】

第2期：2020年10月5日（月）～2020年10月28日（水）23:59 締切

【応募方法】

本WEBページの応募フォームよりご応募下さい。

URL:<https://cre-mie-tive.jp/>

【問い合わせ先】

クريمイティブ実証サポート事業運営事務局 担当者 吉田 土成

※本事業は、デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザー合同会社が運営しています。

E-mail : cremie2020@tohmatu.co.jp

【サポート内容概要】

応募プロジェクトの中から採択された事業者が行う三重県内での実証実験の実施や社会実装に向けた準備に対し、以下6つのサポートを設けています。

- ① コーディネーターによるハンズオン支援
- ② 専門家からのメンタリング機会の提供
- ③ 認知度向上に向けた情報発信支援
- ④ 協力者や顧客等のマッチング支援
- ⑤ コミュニティ形成支援
- ⑥ 実証実験・社会実装に係る資金調達支援

1、本事業の目的

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、社会の考え方・働き方は大きく変化しました。これからも続く新型コロナウイルス感染症の脅威の中で、三重県民の命と健康を守りつつ、with コロナ、after コロナの中での新たな生活様式への対応、経済の再生・活性化に取り組んでいくことが求められています。

本事業では、こうした動きに伴い発生する新たな社会課題の解決や、新しい生活様式の実現に向けて、革新的なビジネスモデル・テクノロジーで対応しようとする国内外の大企業・スタートアップ（第二創業・企業の新規事業を含む）等（以下、「事業者」という。）に対してアイデアを募集し、開発のサポートや実証実験・社会実装の支援等を行うことで、県民生活の質の向上に取り組むとともに、全国に先駆けて、三重県において感染防止対策や新しい生活様式のモデルが構築されることをめざします。

2、応募資格

主な応募条件は、以下のとおりです。応募には、業種の制限はありません。全国の熱意ある事業者の皆様のご応募をお待ちしています。

1. 国内外の大企業・スタートアップ（第二創業・企業の新規事業を含む）等、何らかの法人格を持つ団体であること。
2. 三重県内で、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い発生する新たな社会課題や、新しい生活様式の実現に係る実証実験もしくは社会実装を行うこと。
3. プログラム終了後に、三重県内での継続的な実証実験の実施や社会実装に向けた具体的な計画を有していること。
4. 期間中の全てのプログラム（現地視察・定期面談・報告会参加等）への参加が可能であること。
※特段の事情がある場合は、オンラインでの参加も可能とする。
5. 法人の役員または経営に実質的に関与している者が、暴力団、暴力団員、暴力団関係企業、その他これらに準ずる者 暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者（以下これらを「暴力団員等」という。）に該当しないこと及び次の項目のいずれにも該当しないもの。
 - (ア) 暴力団員等が経営を支配していると認められる関係を有すること。
 - (イ) 暴力団員等が経営に実質的に関与していると認められる関係を有すること。
 - (ウ) 自己、自社もしくは第三者の不正の利益を図る目的または第三者に損害を加える目的をもって行動するなど、不当に暴力団員等を利用していると認められる関係を有すること。
 - (エ) 暴力団員等に対して資金等を提供し、または便宜を供与するなどの関与をして暴力団員等に対して資金等を提供し、または便宜を供与するなどの関与をしていると認められる関係を有すること。

3、募集テーマ

本事業では、クريمイティブ実証サポート事業を通じて、「自由」、「安心」、「安定」をキーワードに、誰もが住みたい場所に住み続けられる地方都市となることを目指しています。

「自由」・・・家族・友人との時間を大切に、どこでも好きな仕事ができる

「安心」・・・充実した子育て支援と高水準の医療が受けられる

「安定」・・・地域の強みを生かし安定成長する経済基盤の下で暮らせる

本事業では、インフラ・医療・防災・行政・産業・福祉・教育の7つの事業領域に分けて、三重県を、「誰もが住みたい場所に住み続けられる地方都市」へと導くアイデアを広く募集します。

各事業領域には、課題の例示も記載しておりますが、課題の例示に対するアイデアを持っている事業者に限らず、三重県庁の目指すべき方向性に合致するアイデアでありましたら、どんなアイデアでも構いません。クريمイティブ実証サポート事業を通じて、三重県が「誰もが住みたい場所に住み続けられる地方都市」となれるよう、三重県庁とともに、一緒に汗をかいていただける事業者からのアイデアを募集します。

4、審査方法

審査スケジュール、注意事項に関しては以下の通りです。

(1) 審査スケジュール

応募期間	2020年10月5日(月)～10月28日(水) 23:59
一次審査結果通知	10月30日(金)
二次審査の実施	11月11日(水) ※オンラインでの実施を予定しています。
結果通知	11月中旬

(注) 二次審査はプレゼンテーション(5分)及び質疑応答(8分)とし、一次審査通過者に別途ご連絡いたします。また、二次審査で使用しますプレゼン資料の送付締め切りは11月4日(水)を予定しております。一次審査通過のご連絡が、プレゼン資料の送付までかなりタイトな日程となっておりますので、ご認識いただければ幸いです。正式な日程につきましては、一次審査通過後にご連絡いたします。

(2) エントリー方法

本 Web サイトの応募フォームよりご応募ください。なお、応募いただいた事業者には、3日以内(土日祝日を除く)に応募いただいた旨メールでご連絡いたします。3日以内に応募受付のご連絡がなければ、下記連絡先までご連絡下さい。連絡の際には、必ず以下の2者を宛先に入れて送付して下さい。

・クريمイティブ実証サポート事業運営事務局：cremie2020@tohmatu.co.jp

・三重県庁：sougyo@pref.mie.lg.jp

※10月27・28日に応募の方には、10月29日までに受領メールをお送りします。連絡がない場合は、上記までお問合せ下さい。

(3) その他注意事項

- 応募情報の取り消し
応募情報は理由の如何を問わず、取り消しを行いません。
- 応募情報の不備
応募情報に不備があった場合には、審査の対象とならないことがあります。
- その他
三重県、運営受託事業者であるデロイトトーマツファイナンシャルアドバイザー合同会社及び審査員、専門家、マッチングをおこなう事業会社等（以下「関係者」という。）に対し、秘密情報（知的財産権に関する秘密情報を含みます。）ないし個人情報（以下、併せ「秘密情報」という。）を開示する場合には、当社の自己の判断でその開示の可否を決するものとし、開示した秘密情報は、本事業の実施に必要なかつ相当な範囲で、運営事務局が任意に使用することに同意します。

5、審査・採択

審査基準に基づき、外部有識者・県庁関係課等により構成する審査委員会において審査・採択を行います。採択された事業については、本 Web サイトにおいて公表します。また応募者全員に対し、事務局から結果の通知を行います。審査基準は、以下のとおりです。

1. 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い発生した三重県内の新たな社会課題解決、新たな生活様式への対応に資するような社会性をもった事業か
2. 新たな社会課題の解決や、新たな生活様式の実現に向けたソリューションが革新的なものか、もしくは、新規性・独自性をもったものか
3. 三重県内での実証実験もしくは社会実装を通じて得られた成果を、全国に展開することを視野にいたった事業か、また一定の市場規模を見込めるか
4. 事業プランが、現在の事業、経営者及びチームの資質、三重県内でのアセット等を踏まえて、実現可能なものか
5. 今回の事業に対する意欲・熱意が高く、プログラム後も、三重県内に根付くことが期待される事業か。

6、サポート内容

採択事業は、採択後の実現可能性調査後に、以下のサポート内容を活用し、三重県内での実証実験や社会実装に向けた準備を進めて頂きます。

(1) 実現可能性調査

採択された事業内容を踏まえ、サポーター（県庁職員）及びコーディネーター（運営事務局スタッフ）

と共に、本事業期間内で行う三重県内での実証実験や社会実装に向けた準備に関するアクションプランを策定。その後、事業者、県庁関係各課、実証実験の関係者等を交えたアクションプランに係る実現可能性調査を実施し、実証実験の時期や関係者と調整した上で、基準を満たしたアクションプランを策定した採択事業から順次、三重県内での実証実験や社会実装に向けた準備を実行。

(2) サポート内容

サービス内容	詳細
コーディネーターによる ハンズオン支援	ハンズオン支援では、事業者毎に、サポート1名、コーディネーター1名をつけ、個別メンタリング（隔週）を実施します。採択事業毎の課題やニーズを把握し、実証実験・社会実装に向けた個別相談に応じます。また、各種申請作業等に関するハンズオンでの助言・支援も致します。
専門家からの メンタリング機会の提供	個別メンタリングで得た情報を基に、採択事業者の状況に応じた専門家とのメンタリングの機会を提供し、事業を進める中で想定される課題・リスクの助言・他地域で実施した先行事例から導出される知見の提供・現状の課題を克服する為の、人・情報・機会の紹介をします。
認知度向上に向けた 情報発信支援	本Webサイトにて、事業内容の紹介を行います。また、WEBページの掲載だけでなく、プレスリリースやSNS等を活用し、情報拡散の為のマーケティング活動も実施し、各事業の認知度向上に努めます。
協力者や顧客等の マッチング支援	実証実験や社会実装に向けて必要となる協力者や実証フィールド（例えば、県内事業者・遊休施設等）のマッチングや、ファーストカスタマーのマッチングに努めます。
コミュニティ形成支援	Facebookグループを活用して、採択事業者同士や県内の協力者等のコミュニケーション促進を図ります。

<p>実証実験・社会実装に係る資金調達支援</p>	<p>本事業の補助金（※1）の提供や、他事業の推進に必要な資金調達に関して支援します。</p> <p>（※1）クジミエ”イティブ”実証サポート事業補助金</p> <p>採択事業者は、以下2種類の補助金を活用頂けます。但し、予算は限られている為、申請額の満額が補助されない場合もあります。</p> <p>① 開発支援補助金 製品等を改良する等の経費について補助 上限：300万円、補助率：1/2</p> <p>② 社会実装支援補助金 実証試験に係る経費、社会実装に向けた広告費等を支援 上限：600万円、補助率：1/2</p>
---------------------------	---

（注）内容の調整・変更の可能性があります。

7、実施スケジュール

重要項目	スケジュール
採択事業の決定	11月中旬
実現可能性調査	採択から1カ月以内を想定 ※事業毎に、調査期間は調整。
実証・実装サポート実施期間	実現可能性調査終了後順次～2月12日（金）
成果報告会	2月下旬

以上